



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

オマーン：鉄道建設計画

(4月10日付オブザーバー紙)

1. オマーンの鉄道網計画を主管する関係者によれば、当国北部に計画される全長 475km の路線を主とする鉄道網計画の計画概要と実施計画のアウトラインが明確化してきており、次のフェーズへの進展が見込まれている。
2. 本鉄道網で全長 300km の本線は、マスカット郊外のミスファットからソハールまでの第 1 セクション、ソハールから北部 UAE 国境沿いのカトマツト・マラーラまでの第 2 セクションからなる。また、ソハールから北西部の UAE アルアイン国境までは、全長 147km の支線（第 3 セクション）が敷設され、さらに同支線からブレイミまで 28km の路線がひかれる。
3. 線路の敷設場所は、本鉄道網計画のフィージビリティ調査を実施したシストラ・コンサルティング社（仏）と現地のナショナル・エンジニアリング・オフィス社による合弁企業体により既に確定されている。今後は、前述の 3 セクションの詳細設計業者および鉄道網建設・運営に関するコンサルタント業者が競合入札によって選定される。
4. 同鉄道網は、現在の所、複線のブロード・ゲージ貨物専用鉄道の方向で計画が進められているが、旅客輸送時には最高時速 350km、貨物輸送時は時速 200km の高速鉄道とする計画もあり、詳細は今後決定される予定。
5. 鉄道本線は、既に実施計画が明確化している 6 車線高速道路バーチナ・エクスプレスと並行して敷設される。フリーゾーンおよび工業団地に隣接するソハール工業港内には、鉄道駅の建設が計画されており、コンテナ・カーゴ、石油製品、化学薬品、工業製品等の鉄道輸送が可能となる。
6. 同鉄道網には、複数の駅が建設される計画であるが、当地の独特な地形や地質により、架橋およびトンネルの建設が必要となる。
7. オマーン鉄道計画は、全長 2,000km の GCC 鉄道計画と並行する形で計画されている。実現すれば、南はオマーン南部のサララから北はイラク国境沿いのクウェイト市に達する GCC 鉄道網は、事業費 250 億米ドル規模に上る見込みで、2016 年から 2018 年の間に完成が予定されている。長期的には、同鉄道は中東とヨーロッパおよびアジアとを結ぶことも期待されている。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799